

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・米国株式ファンド Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)」と「フィデリティ・米国株式ファンド Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)」は、第13期から第14期までの決算を行いました。当ファンドは、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・米国株式ファンド

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)/Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/株式

交付運用報告書

第13期(決算日 2021年8月20日)

第14期(決算日 2021年11月22日)

作成対象期間(2021年5月21日～2021年11月22日)

日経新聞掲載名

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり): F米国株式C

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし): F米国株式D

第14期末 (決算日 2021年11月22日)

基準価額	Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)	Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)
	12,508円	13,173円
純資産総額	Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)	Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)
	6,639百万円	15,090百万円
第13期～第14期 (2021年5月21日～2021年11月22日)		
騰落率	Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)	Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)
	21.6%	26.5%
分配金合計	Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)	Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)
	1,450円	1,750円

(注) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

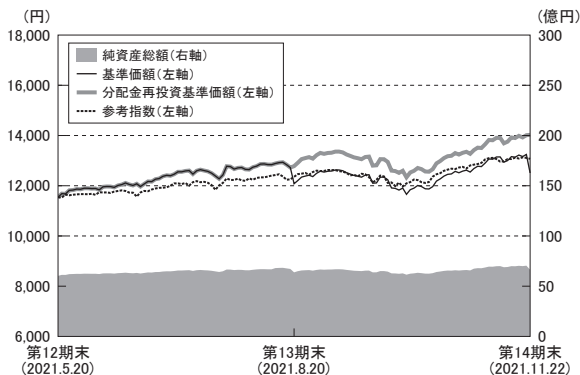
フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)

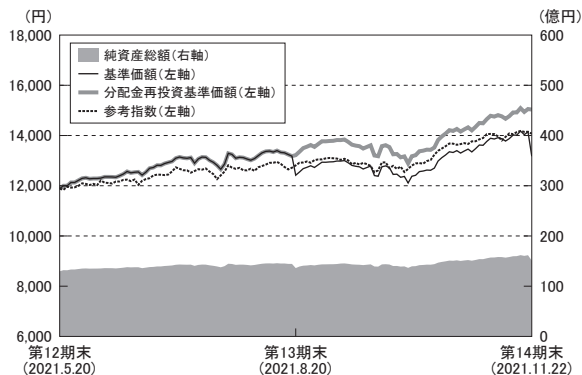


第13期首: 11,539円

第14期末: 12,508円(既払分配金1,450円)

騰落率: 21.6%(分配金再投資ベース)

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)



第13期首: 11,884円

第14期末: 13,173円(既払分配金1,750円)

騰落率: 26.5%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年5月20日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

② 基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドの騰落率は、Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)が+21.6%、Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)が+26.5%でした。

当ファンドは、フィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

<プラス要因>

米国株式相場が上昇したこと。

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)については、米ドルが対円で上昇し、円安となったこと。

<マイナス要因>

特になし。

③ 1万口当たりの費用明細

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)

項目	第13期～第14期		項目の概要
	2021年5月21日～2021年11月22日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	0.841%	(a) 信託報酬 = 当作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,409円です。
(投信会社)	(51)	(0.413)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(51)	(0.413)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(0)	(0.003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.024	(d) その他費用 = $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.014)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(1)	(0.008)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	109	0.875	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

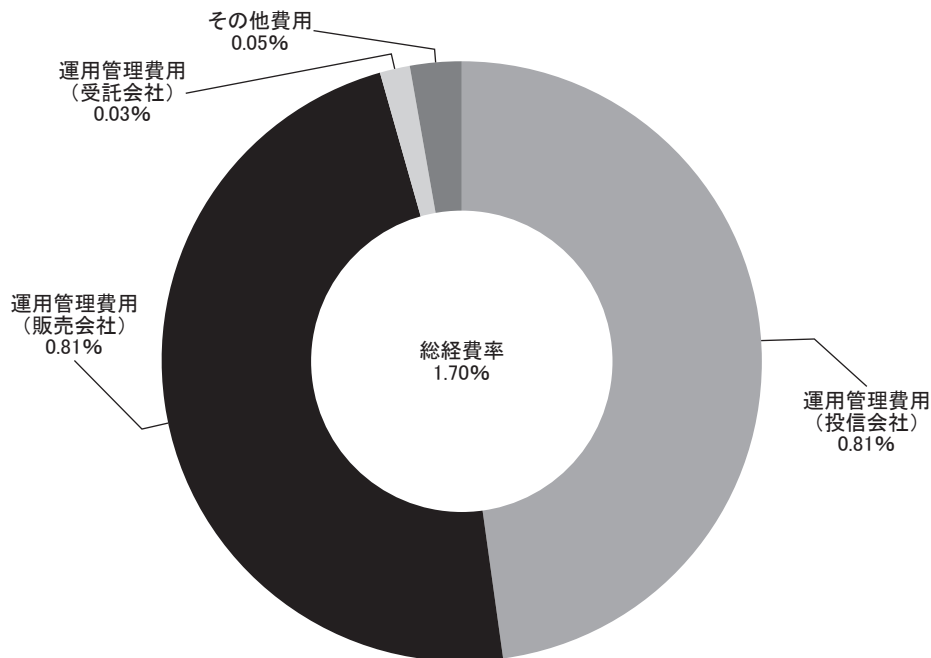
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.70%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)

項目	第13期～第14期		項目の概要
	2021年5月21日～2021年11月22日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	109円	0.841%	(a) 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,931円です。
(投信会社)	(53)	(0.413)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(53)	(0.413)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(0)	(0.003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.025	(d) その他費用＝ $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.013)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(1)	(0.006)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	113	0.876	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

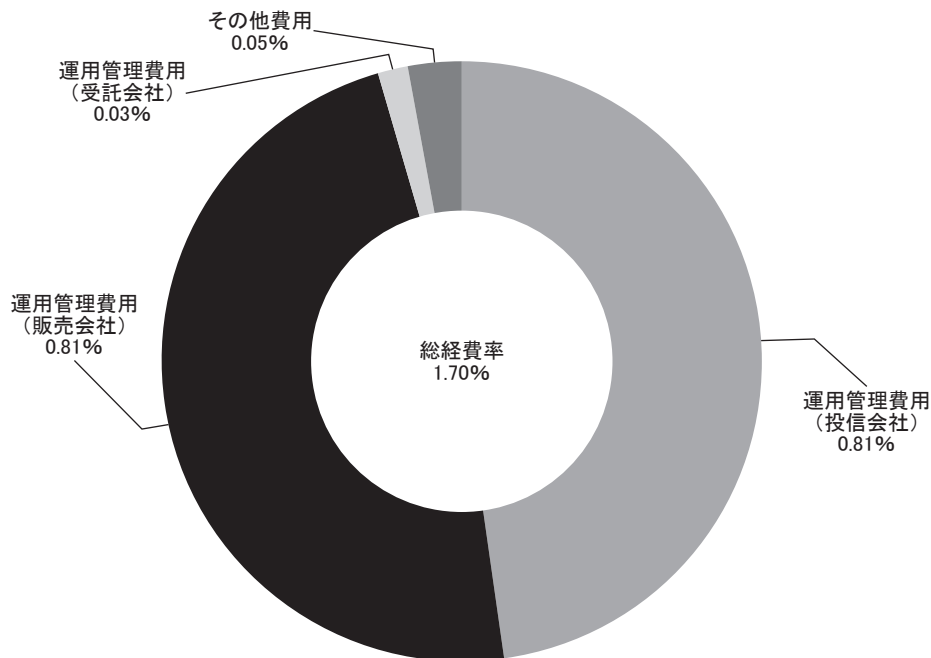
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.70%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

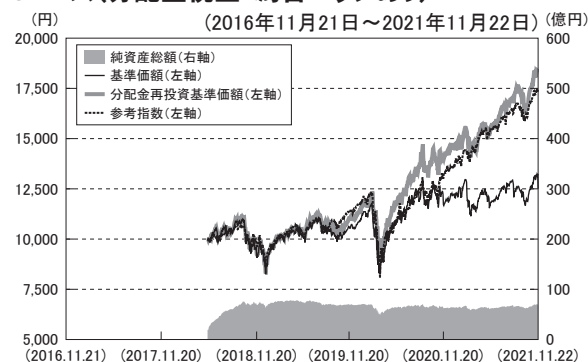
(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)



Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)



Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)

	2018年5月22日 設定日	2018年11月20日 決算日	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日	2021年11月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,182	10,582	11,718	12,508
期間分配金合計(税引前) (円)	—	100	350	1,650	2,600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△7.3	19.2	27.2	31.6
参考指数騰落率 (%)	—	△3.6	17.4	15.0	33.2
純資産総額 (百万円)	1,925	6,923	6,982	6,220	6,639

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)

	2018年5月22日 設定日	2018年11月20日 決算日	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日	2021年11月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,421	10,705	11,533	13,173
期間分配金合計(税引前) (円)	—	100	400	1,550	3,000
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.9	18.0	22.7	44.3
参考指数騰落率 (%)	—	△1.0	15.7	11.5	46.7
純資産総額 (百万円)	2,649	13,343	14,652	13,006	15,090

(注1) 分配金再投資基準価額および参考指数は、当ファンドの設定日(2018年5月22日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

⑤投資環境

当作成期の米国株式相場は上昇しました。当作成期の主要株価指数の騰落率は、NYダウ工業株30種平均+4.5%、ナスダック指数+17.1%、S&P500種指数+12.6%でした。(いずれも米ドル・ベース)

期初は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受けて経済正常化への動きが加速した一方、インフレ懸念やサプライチェーンの混乱などを背景に株価は小幅の上昇にとどまりました。6月には、金融緩和の段階的縮小や利上げ開始時期を巡る思惑が交錯したほか、新型コロナウイルスの変異種が拡大し新たな不安材料となったものの、経済正常化への期待も根強く、株価は堅調に推移しました。7月は、良好な企業決算が相次いだほか、米国経済の回復が続くなかでも長期金利は低下傾向となり、株価を押し上げました。8月には、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が量的緩和の縮小について年内に開始することを表明した一方、早急な利上げには否定的だったことで市場に安心感が広がったほか、雇用環境の回復継続が確認され、株価は堅調に推移しました。9月には、インフレが警戒されたことや、長引く半導体供給の遅れ、中国の不動産大手の経営危機が深刻化したこと等を背景に、株価は下落しました。10月に入ると、経済活動の回復を受けて良好な企業決算が相次いだほか、金融政策の正常化も織り込まれ、市場に安心感が広がり、株価は上昇しました。11月には、米連邦公開市場委員会(FOMC)で量的緩和縮小の開始が決定されたものの、好調な企業業績がサポート要因となり、株価は堅調な推移となりました。

当作成期の米ドル/円相場は、約5.4%の円安・米ドル高(1米ドル=108.85円→114.75円)でした。(WMロイター使用)

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券を通じて投資をしております。以下、フィデリティ・米国株式マザーファンドについて記載しています。

当ファンドは、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式を主要な投資対象とします。「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。

当ファンドは上記方針に沿った運用を行いました。なお、当ファンドにおける組入上位10業種の比率は以下の通りとなりました。

組入上位10業種

前作成期末

	業種	比率
1	情報技術	29.3%
2	コミュニケーション・サービス	15.9
3	金融	15.2
4	ヘルスケア	13.2
5	一般消費財・サービス	11.8
6	資本財・サービス	5.9
7	素材	2.8
8	生活必需品	2.3
9	公益事業	0.2
10	エネルギー	0.2

当作成期末

	業種	比率
1	情報技術	36.6%
2	コミュニケーション・サービス	14.4
3	金融	13.0
4	一般消費財・サービス	12.8
5	ヘルスケア	12.5
6	資本財・サービス	4.2
7	生活必需品	2.8
8	素材	1.7
9	エネルギー	0.3
10	不動産	0.2

(注1)「比率」欄は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

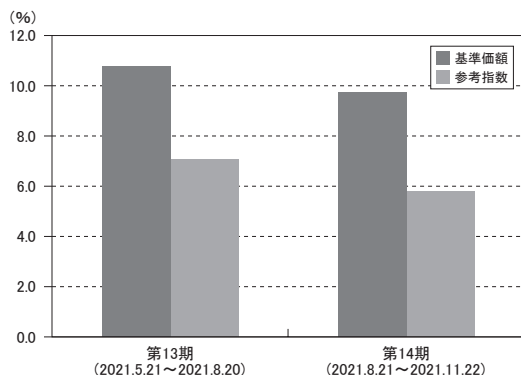
(注2)業種はMSCI/S&P GICSのセクターに準じて表示しています。

⑦ベンチマークとの差異

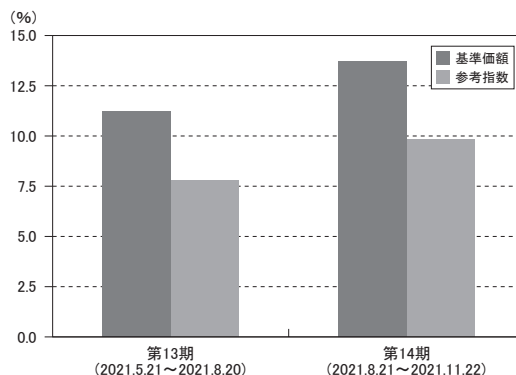
当ファンドは、ベンチマークを設定していません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)



Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)



(注)基準価額の騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

※Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

⑧分配金

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第13期	第14期
	2021年5月21日～2021年8月20日	2021年8月21日～2021年11月22日
当期分配金	700	750
(対基準価額比率)	5.48%	5.66%
当期の収益	700	750
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,079	2,507

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第13期	第14期
	2021年5月21日～2021年8月20日	2021年8月21日～2021年11月22日
当期分配金	800	950
(対基準価額比率)	6.05%	6.73%
当期の収益	800	950
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,418	3,173

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、引き続きフィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

引き続きインフレが警戒され、金融政策においても量的緩和が縮小される見通しです。株価のバリュエーションも高い水準に上昇しました。しかしながら、米国経済は引き続き正常化へ向かっており、企業の業績は回復が鮮明となっています。米国の企業は来年から再来年以降へかけての成長が展望されます。企業は新しいテクノロジーを駆使し、事業環境の大きな変化にしっかりと適応してきました。今後、情報技術に加えて、コミュニケーション・サービスや金融などの幅広い企業に高い成長が期待できます。米国企業には大きな成長力があり、米国株式の先行きは明るい見通しです。引き続き個別銘柄の調査分析を徹底して成長力の高い企業を選別し、長期的な運用成果を目指します。

3. お知らせ

該当事項はありません。

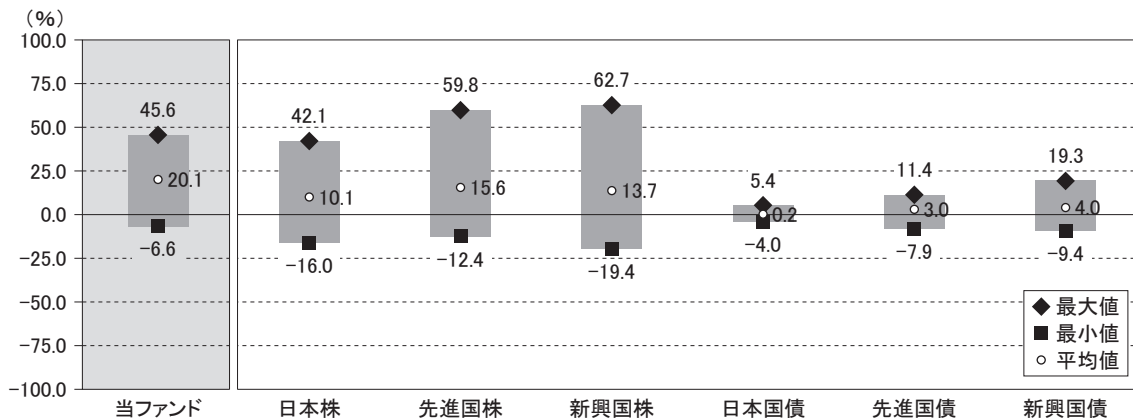
4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年5月22日から2028年5月22日まで	
運用方針	この投資信託は、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。	
主要投資対象	ペビー・ファンド	フィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・米国株式マザーファンド	米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●フィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。●「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。	
分配方針	毎決算時(原則2月、5月、8月および11月の各20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

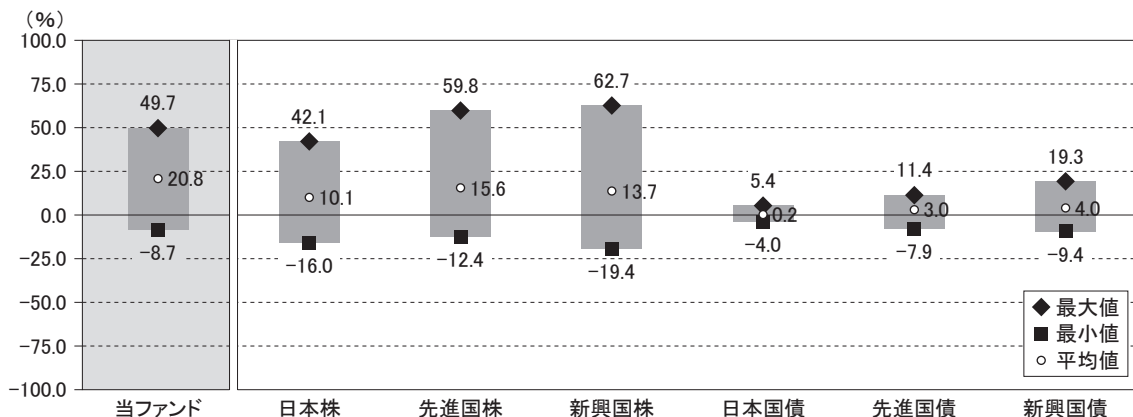
5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)



Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)



(注1) 当ファンドは2018年5月22日に設定されたため2019年5月～2021年10月の期間、他の代表的な資産クラスについては2016年11月～2021年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

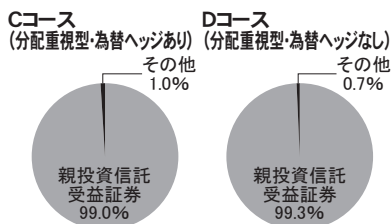
①組入資産の内容

組入上位ファンド

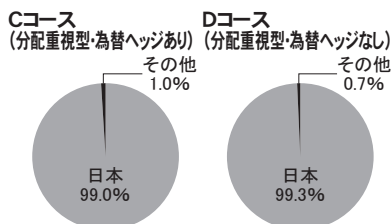
(2021年11月22日現在)

ファンド名	組入比率	
	Cコース (分配重視型・為替ヘッジあり)	Dコース (分配重視型・為替ヘッジなし)
フィデリティ・米国株式マザーファンド	99.0%	99.3%
組入ファンド数	1ファンド	1ファンド

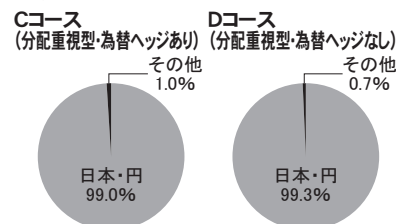
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)

項目	第13期末	第14期末
	2021年8月20日	2021年11月22日
純資産総額	6,377,283,569円	6,639,985,308円
受益権総口数	5,279,415,831口	5,308,598,060口
1万口当たり基準価額	12,080円	12,508円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は327,066,967円、同解約元本額は240,710,924円です。

Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)

項目	第13期末	第14期末
	2021年8月20日	2021年11月22日
純資産総額	13,606,545,650円	15,090,943,030円
受益権総口数	10,956,493,276口	11,455,607,643口
1万口当たり基準価額	12,419円	13,173円

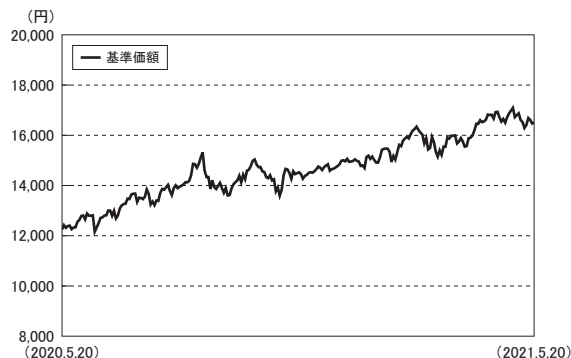
(注) 当作成期中における追加設定元本額は1,226,274,478円、同解約元本額は675,368,662円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・米国株式マザーファンド

(別途記載がない限り2021年5月20日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

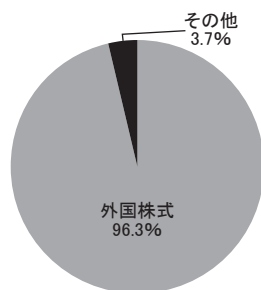
	銘柄名	通貨	比率
1	AMAZON COM INC	アメリカ・ドル	6.1%
2	FACEBOOK INC A	アメリカ・ドル	6.0
3	BERKSHIRE HATHAWAY INC CL A	アメリカ・ドル	5.5
4	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.2
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ・ドル	3.7
6	NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	3.4
7	NETFLIX INC	アメリカ・ドル	3.1
8	APPLE INC	アメリカ・ドル	2.5
9	SALESFORCE.COM INC	アメリカ・ドル	2.4
10	ALPHABET INC CL A	アメリカ・ドル	2.1
組入銘柄数		292銘柄	

1万口当たりの費用明細

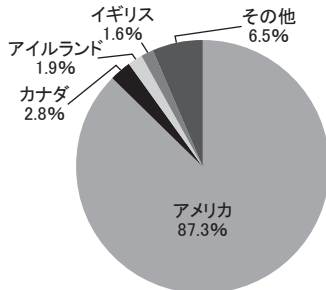
(2020年5月21日～2021年5月20日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
(投資証券)	(0)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)
(c) その他費用 (保管費用)	5 (5)
合計	9

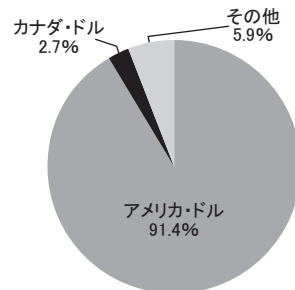
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページおよび4ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注5) 組入上位10銘柄は運用報告書(全体版)の記載に合わせた内容へ変更しました。

* マザーファンドの計算期間は当ファンドの作成対象期間と異なります。マザーファンドの運用経過および組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●参考指数について

- ・S&P 500[®]指数は、ニューヨーク証券取引所、NASDAQに上場している米国の主要産業を代表する500社により構成される米国株の株価指数です。S&P 500[®](「当指数」)は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品で、フィデリティ投信株式会社に対して使用許諾が与えられています。フィデリティ・米国株式ファンド Cコース(分配重視型・為替ヘッジあり)／Dコース(分配重視型・為替ヘッジなし)(以下「本商品」)はSPDJおよびその関連会社により支持、推奨、販売または販売促進されているものではなく、本商品への投資の妥当性についていかなる表明も行なっておらず、当指数の誤り、欠落または遅延について責任を負いません。
- ・S&P 500(税引前配当金込／円ベース)は、現地通貨ベース指数から税引前配当金込指数を計算したものを株式会社三菱UFJ銀行が発表する換算レートをもとに委託会社が算出したものです。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標に関するすべての権利は(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、本商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村證券に帰属します。なお、野村證券株式会社はNOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー. が算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。当指数の著作権はジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属しております。指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社(「JPモルガン」)に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

